

第1902号

2019年2月3日

日本共産党根室市議団

根室市宝林町4-203

TEL 23-6023

FAX 24-1684

## 議員団「成央放課後教室」視察

日本共産党根室市議会議員団（鈴木一彦団長、橋本竜一幹事長）は1月25日（金）成央放課後教室を視察し、現状等について認識を深めました。



臨時3人、土・月週休対応  
臨時2人（嘱託）コーディネーター1人、計10人体制です。

年間を通して「せいおうミニえんにち」「バス遠足」「図書館司書の「おはなしの会」など多彩な行事が開催されています。また、「防火・防災の先生役は町会のおじさん」として、「秋の根室市火災予防運動」（10月15日～10月31日）に合わせて、宝林町会の開院が放課後教室を訪れて、ゲームを通じて楽しみながら防火・防災に対する知識を深めています。

成央放課後教室の概要  
成央放課後教室は、根室市立成央小学校内、南側校舎の1・2階にあります。光洋児童会館と昭和児童会館を廃止統合し、平成23年4月に開設されました。開室は月曜から土曜、正午から午後5時20分までとなっています。休館日は日曜日、年末年始。利用者は1日70～80人ほどで、指導員は9人（嘱託4人、常勤

員が1・2階に分散するため目が行き届かない、指導員同士の連絡が困難などのデメリットがありました。現在は、インターホンやトランシーバーの設置で補っています。

特別な支援を必要とする子どもたちも放課後教室を利用しており、指導員のみなさんは、そうした子どもたちとのかかわりについて、学校とも連携しながら、日々、実践と研究を重ねています。

放課後教室の指導員のみなさんは、放課後の子どもたちの活動に責任をもち、特別な支援について学ぶなど、専門性と責任が求められる中でやりがいを持って取り組まれています。ただ、待遇がそれに見合っていないかどうかが課題です。

このたび、「キャリアアップ処遇改善事業」を活用し、「放課後児童支援員認定研修」の修了者に月額1万円が支給されるようになり、指導員報酬が

改善されました。これを課後教室がより良い環境契機に、指導員のみなさんとなるように、私たち議員のさらなる処遇改善 団も全力を尽くします。

「かけある記」  
底力を出しあって

一月二十八日 前衆議院議員 島山 和也

選挙イヤーの幕開けは十勝・清水町から！ 昨年一月に現職の木村好孝町議が亡くなり、「五十年続いた党の議席を空白にできない」と中河つる子さんが立候補され、前回選挙より得票を伸ばして見事に四位で当選しました。中河さんは、五十年前に党町議となった佐々木清登さんの教え子だったそうです。このような歴史を継いで、今の日本共産党への信頼があるのかと思うと胸が熱くなりました。

二月には議席増をめざす東川町と現職が十二期目をめざす長沼町、三月になれば統一地方選がスタートします。お住いの町はもちろん、全道・全国の知人・友人に日本共産党予定候補をお広げください。その一声が地域を変え、安倍政権も変える力になります。

通常国会もスタートしました。勤労統計の偽装が見つかり、アベノミクスで「賃金があがった」と誇っていた土台が揺らいでいます。もはや「サギノミクス」と呼びたいくらい。賃金も消費も上向かなければ、消費税の増税もできなはずです。ウソと隠ぺいの安倍政権を続けさせるわけにはいきません。

それでも安倍首相は、政権を延命させて九条改憲へと執念を燃やしてくるでしょう。ある「女性のつどい」があった際に、歌人・石井百代さんの短歌を思い出し、紹介しました。

徴兵は命かけても阻むべし 母・祖母・おみな牢に満つるとも

戦争反対を唱えても、今は牢獄に入れられる心配はありません。底力を出しあって、連続選挙でいい結果を出しましょう。